

# 浅海増殖試験

## 多古地区におけるサザエ資源調査

吉尾二郎

多古地区におけるサザエ資源の動向を継続して調査したので、以下に概要を報告する。

### 材 料 と 方 法

平成元年8月1日に野波漁協多古支所から、磯見(かなぎ)と刺網によるサザエ漁獲物を購入し、殻高を測定した。多古地区のサザエ漁獲量については、多古支所の集計資料を参考にした。

### 結 果 と 考 察

サザエ測定結果を表1、図1に、平成元年の漁業種類別漁獲量を表2に、昭和62年から平成元年までの漁業種類別漁獲量を表3にあらわした。

当地区のサザエ漁獲量は昭和62年(1987)から8~9トンで安定している。漁業種類別の漁獲物組成(刺網,磯見)は、刺網ではおよそ2つの年級群から、磯見ではおよそ1つの年級群からなる。この傾向は、昭和62年から同様である。

しかし、実際のサザエ殻高組成は表2の漁業種類別漁獲量の経年変化における潜水、刺網の大幅増減に見られるように、内容の変化が大きく、年次毎の組成を漁業種類別に割振る必要がある。

これまでの調査では、刺網、磯見の2漁業種類しか殻高組成しか求めておらず、資源解析のためには、潜水による漁獲物組成を求める必要が生じている。

これまでの結果から、当地区のサザエ漁獲実態について言えることは、漁獲対象資源に添加したサザエは、1~2年でその大半が漁獲されるということである。

今後、未調査の潜水による漁獲物組成を明確にするとともに、他地区との比較を行ない、資源有効利用の方策を模索する必要がある。

表1 多古地区サザエ漁獲物組成 (平成元年8月1日)

項目 殻高範囲(mm)	磯見漁獲分		刺網漁獲分	
	個体数	%	個体数	%
50~54	12	2.7	5	1.0
55~59	70	15.9	20	3.9
60~64	155	35.3	80	15.5
65~69	105	23.9	97	18.8
70~74	58	13.2	94	18.2
75~79	31	7.1	110	21.3
80~84	7	1.7	67	13.0
85~89	1	0.2	27	5.2
90~94			10	1.9
95~99			5	1.0
100~104			1	0.2
計	439	100.0	516	100.0

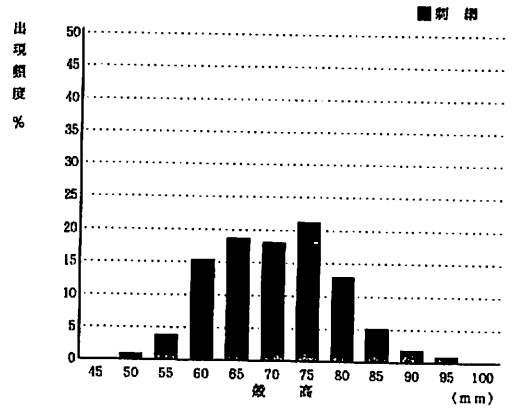


表2 平成元年度月別漁業種類別漁獲量 (多古地区)  
(単位: kg)

漁業種類 月	磯見	刺網	潜水	計
1	35	0	476	511
2	260	11	550	821
3	87	33	1,166	1,286
4	80	317	936	1,333
5	58	168	185	411
6	0	0	0	0
7	418	265	406	1,089
8	784	233	812	1,829
9	303	87	429	819
10	24	20	21	65
11	0	0	0	0
12	0	47	421	468
計	2,049	1,181	5,402	8,632

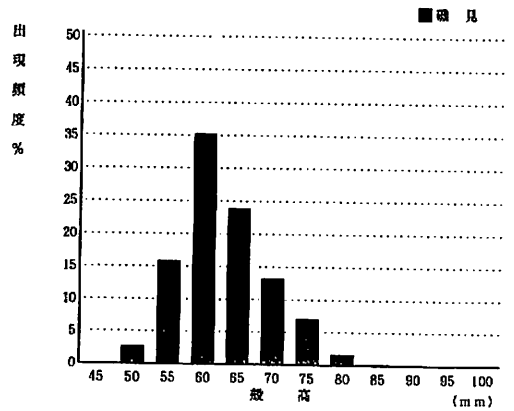


図1 サザエ殻高組成

表3 漁業種類別漁獲量の経年変化 (単位: kg)

年	漁業種類	磯見	刺網	潜水	合計
1987		1,569	7,474	518	9,561
1988		1,566	4,991	2,386	8,943
1989		2,049	1,181	5,402	8,632